



# 三春中学校だより

第 35 号

発行日 平成 30 年 10 月 5 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【放射線学習！ ～正しく理解し、正しく付き合い、たくましく生きていきます。～】

10月3日（水）、第1学年において、環境創造センターコミュニティより2名の講師の先生をお迎えし、放射線に関する学習を行いました。

理科の授業で取り組みましたが、今後も長くお付き合いしていかなければならない放射線です。その性質や扱い方、関わり方などについて正しく理解していくことは、私たちがふるさと福島にしっかりと根を張って生きていくために欠かせない学習でもあります。

東日本大震災の津波による福島第一原発の事故、旧三春中学校の会議室でみた水素爆発のテレビ映像は今でも記憶の中にしっかりと残っています。その悲惨な事故とその後の福島の現実から目をそらさず、福島でしっかりと生きていこうと思います。



## 【薬物乱用防止教室！ ～ダメ！ゼッタイ！一度でも！～】

10月2日（火）の4校時、田村警察署の生活安全課より講師の先生をお招きし、全校生が体育館で薬物乱用防止教室に取り組みました。

講師の先生のお話とDVDの視聴による学習でした。講師の先生からは、平成10年前後が少年非行のピークであり、薬物乱用もピークを迎え、全国で1000人を超える少年の逮捕者がいたということでした。違法な薬物はゼッタイ取り入れてはならず、自分も家族も手を出さない、はっきり断ることが大切だという話をいただきました。最近は、インターネット上で禁止薬物と似た薬物が、『安全』という偽りの包装紙で包まれてくるといってお話もありました。

その後のDVDでは、薬物中毒専用病院の様子や脱法ハーブ、危険ドラッグなどの映像、薬物が人にどんな影響を与えるかなどが映像とともに解説されました。まとめとして、薬物乱用はなぜいけないのかについて確認され、①脳がダメージを受ける。②まともな社会生活が送れなくなる。③暴力団の資金源になる。④持っているだけでも犯罪になる。とお話いただきました。薬物乱用は人間をダメにします。

ダメ！ゼッタイ！一度でも！



## 【三春中生の心がけ！ ～ひたむきに、やることはやる。しかも、こころ豊かに～】



第1学期を振り返ってみると、さまざまな出来事や行事があり、それらへの取り組み・対応を通して、たくさんの学びや成長が生徒にも学校にももたらされました。

毎朝、校門にいと、生徒会の役員が欠かさず校旗を掲揚塔に掲げに現れ、急な雨降りには気を利かせて校旗を降納してくれています。また、どんな忙しい学校生活の中であっても、校内各所にある雑巾がけの雑巾は整然と掛けられていて、雑巾から爽やかさを感じるほどです。3階の家庭科室前では、ピアノ伴奏役のかよわい？女子を囲み、屈強？な男子が合唱コンクールの練習に主体的に取り組んでいます。

何気ないことではありますが、これが三春中学校・生徒の底力であり、質の高さだと思います。やることはやる、しかも、ひたむきに、それが子どもたちの心の豊かさにつながってまいります。たいしたもんです。

### 【今日で第1学期終了！～すばらしいがんばりを第2学期へと確実につなげてまいります。～】

第1学期終業式・第2学期始業式で、子どもたちのがんばりを讃えました。ご覧ください。

〈式辞〉開校6年目、新たな三春中学校の歴史と伝統の1ページとなる、平成30年度第1学期が終了し、来週からは第2学期が始まります。三春中学校のすべての生徒のみなさん、これまで本当によくがんばりました。そして、それぞれの『命の輝き』、おめでとうございます。

平成30年度の初めにあたり、みなさんにまず考えていただいたこと、それは言うまでもなく、三春中学校で生活する一人ひとりの『命』というものを大切にしたい。『命』のかけがえのなさやその重みを常に意識した生活をしてほしいということでした。学校という『公共の場』で、みなさんはそれぞれの命を輝かせると共に、他の人の気持ちや立場を大切にしたい学校生活を心がけてきました。コミュニティーガーデンに掲げられためざす生徒像『忠恕』の求める、三春中学校生徒一人ひとりの心がけでした。みなさんの周囲に、「いじめ」はありましたか。毎週の生徒指導委員会という先生方の話し合いでは、みなさんの日々の生活について各学年などから報告があります。「いじめ」につながりそうなことは小さいうちにすぐに対応し、安全・安心な学校生活の実現にみなさんも先生方も心を配っていただいていたことがよくわかります。第2学期も同様に、相手の立場に立ち、すべての三春中学校生徒の安全・安心な学校生活を守っていきましょう。

次にお話したことは、学校という場は、自分で自分を、自立した大人へと育て上げていく、大切な学びの場であるということでした。みなさんは、これからの『繰り返し』や『積み重ね』次第で、将来、社会で自立して、生き生きと、『命の輝き』をもって生活していける人に成長することができそうです。この式の後、担任の先生から手渡される通知票のすべてに目を通しました。その所見の多くに、計画的に、粘り強く、自ら学習等に取り組めるようになったという記述がありました。生活面でも、友達と協力して、しっかりと任せられた仕事をやり遂げたという所見がたくさんありました。みなさん一人ひとりの『繰り返し』と『積み重ね』が成果となって現れてきている証拠です。第2学期においてもそれを続け、『繰り返し』と『積み重ね』がどんな場面においても確実にできるようにしていきましょう。めざす生徒像『探究』は、自分の知っていること、知らないことを自覚し、知らないことは自分で調べ、人に聞き、友達と共に成長していくことをめざしています。

3つ目にお話したのは、めざす生徒像『必達』についてでした。『皆勤賞』のお話を通して、当たり前のこと、何気ないことを続けることのたいへんさ、そして、続けられたことのかけがえのなさについてお話しました。三春中学校の『皆勤賞』は、登校するだけではなく、今日もしっかり勉強しようという気持ちで、先生方が準備した学習などに一生懸命取り組み、それが3年間継続できた生徒に伝達されます。よりよい『学び』、質の高い『学び』を追い求め、すべての生徒が『第2学期の皆勤賞』をめざしていきましょう。そのためには、自分や自分たちの姿を冷静に見つめ、心身の健康に十分注意し、目標を自ら考え、よりよい努力を積み重ね、他と共に学び合っていきましょう。三春中学校の生徒のみなさんには、よりよいものを追い求める力、沈着冷静に判断する力と共に、ひたむきに続けることのできる力も身につけてほしいと思います。

これまでも、これからも、三春中学校のめざす生徒像『忠恕』・『探究』・『必達』は、三春中学校という集団の中で、私たちすべての生徒のみなさんや先生方がよりよく生きていく上での大切な拠り所となっています。

さて、みなさんには、もう一つ、一人ひとりの中に、ひとつ、そして、できるだけ多くの『命の輝き』と呼べるものを作り、育て上げていってくださいともお話しました。そして、その実現のために、『命の輝き』共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに「～子どもたちのこころに、ひたむきさところの豊かさを届けよう」という『校長の経営方針』のお話もしました。

笑顔を大切に、感謝の心であいさつし、スクールバスの座席を譲り、だめなことはだめと言い、テストでトップをめざし、辛いことにこそ挑戦し、うれしいことは一緒に喜び、悲しいときには共に悲しみ、相手のよいところを見つけ、勉強や部活動に歯を食いしばり、手伝いをしっかりし、地域行事にも参加し、約束を守り、『あったか言葉・励まし言葉』を使い、「ありがとう。」ときちんと伝え、草花を大切に、清掃に真剣に取り組ましようとお話しました。また、疲れてしまったときは、「助けて。」「うまいかないんだ。」と相談してみてくださいともお話しました。全部できるようになってきていますね。これからも続けていくことで、もうすぐ確かな力として、三春中学校のよさとして誇れるものとなります。がんばりましょう。

第1学期が今日で終了し、第2学期が始まると2週間ですぐ文化祭『HARU FES』がやってきます。平成30年度の第1学期のみなさんの大健闘を讃えると共に、第2学期は、これまでみなさんが築き上げてきたものがさらに確かなものとなる時間にしていきましょう。

この三春中学校で学ぶすべてのみなさんが、「今日も楽しかった。」「一生懸命がんばった。」「三春中学校でよかった。」と言えるよう、みんなが一丸となって活動できる三春中学校となるよう心から願い、平成30年度第1学期終業式・第2学期始業式の式辞といたします。